

日南町地域経済活性化交付金事業で

阿毘縁山遊歩道看板設置

平成18年度、むらづくり協議会発足に伴い活性化推進協議会の事業を引き継ぎ、観光開発でもある解脱寺妙見さん遊歩道整備を進めて来ました。ボランティアとむらづくり協議会理事・事務局、産業観光振興部員で、廃止になったテレビの共同アンテナの廃電柱を使用し階段・水切り・砂止め等の作業をしました。

平成19年度と20年度の2年間では25万円の日南町地域経済活性化交付金事業の交付金を受け、妙見さんより三角点までの延長工事と観光案内看板・方位板・樹名板を設置して、全長670メートルの遊歩道が出来上がりました。

3月20日には看板が出来上がり、解脱寺山門上手の日南町案内看板の横に『阿毘縁山遊歩道』と名打った看板が10名の参加者で設置されました。あいにくの雨でしたが、雨降って地固まるということわざ通り、阿毘縁地域発展の第一歩になればと願うところです。

高原だより

発行 / 阿毘縁むらづくり協議会

電話 87 - 0909

平成21年4月



阿毘縁山遊歩道完成イベント

危ぶまれた天候も回復し、三月二十八日
うっすらと雪をかぶった地域内ではあり
ましたが、二十二名の参加者で遊歩道を散
策しました。

妙見さんまで上がると満開のアセビの
花がみんなを迎えてくれ、頂上では、参加
者の自宅を指差し歓声が上がっていました。
雲に隠れた大山も、参加者を歓迎する
かのように姿を現しました。

心地よい体の温もりと、ほぐれを感じ
て、下山後解脱寺で竜聖上人さんより講和
をお聞きしました。解脱寺山門の石の大鳥
居について、解脱寺の葵の家紋について、
百日の荒行に行かれた時に作ってもらわ
れた一木三体の大黒さんの像のことにつ
いて三つのお話をされ、参加者の皆さん
は、真剣な面持ちで聞き入りました。

完成イベントとしては、最高の天候と見
晴らしでした。皆さんも是非一度登ってみ
てください。

山帰来コーナー

四月五日(日)今年最初の森林ボランテ
ィアを行いました。昨年いただいた水仙も
かわいい芽を出し陽の当たるところでは、い
い香りの花を咲かせます。
春の陽気に誘われて展望台まで散歩は
いかが?野草や私達の植えたいろいろいな
花が楽しめます。
また、見晴らしもよく気分が晴れ晴れし
ますヨ!
ところで今年の“あしびえ市”はゆきん
この古民家で行います。詳しいことは来月
号にて……

四月十二日

雅

協議会活動記録

(3月)

20日: 妙見さん遊歩道看板設置

28日: 遊歩道完成イベント

(4月)

1日: 辞令交付・事務長会議出席

9日: 産業観光振興部会

13日: 福祉防災対策部会

14日: 保健体育部会

これからの予定

(4月)

16日: 文化生涯学習部会

28日: 理事・事務局会議

完成イベント参加者の感想

完成後、初めて登られた方からの感想です。

初めて、山にのぼって景色がすごくきれいだったし、阿毘縁の地域を見られて良かったです。
子どもは、私くらいしかいなかったけど、いろいろな大人の人と一緒に活動して、いろいろな話を聞いてよかったです。でも、のぼりおりがすごくたいへんでした。



阿毘縁むらづくり協議会発足以来計画されました遊歩道がこの度完成し、完成登山一番乗りで登らせて頂きました。急な坂道の開設作業に大変であったことを感謝しながら登りました。頂上には、四方を眺める山々の案内板の建立、樹木のわかるように樹木名も付けられ、登山の出来る林間学習には最適な場所だと思いました。開設された皆様に感謝申し上げます。
以前三角点から阿毘縁の村並み、四方の山々が眺められましたが、ひにくにも周囲が大木となり一望できなくなったのが残念です。もう一踏ん張りして参道等草花(高冷花)を植えて観光に結びつけたらいいな一と思つて下山しました。

久々の山登り、大丈夫かなと思つて登り始めましたが、思ったほどではなく三角点に到着しました。天気もよく、見晴らしもよく、大山も雲が少しかかっていましたが見えました。
今度は、阿毘縁一周ウォーキングでもしてみたいですね。日頃の運動不足解消に、おしゃべりをしながら遠足気分でしたかったですよ。

前日のお天気があやしかったのでどうしようかと迷っていましたが、朝起きたら陽のまぶしさがうれしくて娘と参加させてもらいました。
昨年登られた方に「見晴らしが良いいよ」と聞いていたので、是非この目で見たいの思いで。
木の枝に雪があったりする中にも春の匂いを感じました。あいにく大山は雲にかくれてはつきりとは見えませんでした。絶景に感動しました。
参加させてもらってよかったです。ありがとうございました。

3月28日、朝起きたら昨日とは打って変わって天気が良くなっている。この分では山に上がられると靴を履き軽装で解脱寺の駐車場に向かった。もう7~8人集まっていた。そこでお茶とおやつをもらい、9時に参加者20人ばかりで山に登り始めた。寺を過ぎると坂道が続き、丸太木で持って階段状に施してある。息を切らして登ると、少し開けたところがあり、そこには1坪くらいの祠があった。これは妙見さんが奉られているそうだ。そう言えば私が、小学3~4年位の時、解脱寺の大火があり飛び火して焼けたと聞いたことがある、もう60年にもなる。まああれだけ離れているのに何かの因縁かと一礼しながら進んだ。この先尾根伝いに、右手には松やもみの木の枝ぶりのよいのを見ながら左手には広葉樹の林、今の時期は何もないが秋には紅葉がきれいなことだろう。一段と急な所を登ると頂上であるここに切り株でもあったら・・・そこには三角点の基石がある。ここからは阿毘縁の上が全貌出来る。又、砥波、四季彩、運動公園、養鶏団地等望む事が出来るが、夏になり葉が生い茂る頃に成ると視界を妨げるかも・・・樹木名板も整えられ、これは何の木などと会話しながら登れることは楽しいことである。丸太木を立てて作った方向案内板、身体一つでも大変なのに作られた人の苦勞がわかります。案内板に従って、北東の方向に首根伝いに行くとそこが終点らしい。うっすらと大山の姿が見える、春霞でなかったら感動するくらい見えただろう。そこで記念撮影・・・パチリ。解脱寺に降りたのが十時、約1時間の散策でした。これにかかわられた皆さんありがとうございました。